

海難救助訓練

(8月4日)

海難事故における負傷者の発生を想定し、迅速な捜索、救助、救急訓練の技術向上を図ることを目的に「海難救助訓練」が常盤町二区公民館付近海岸一帯で行われました。



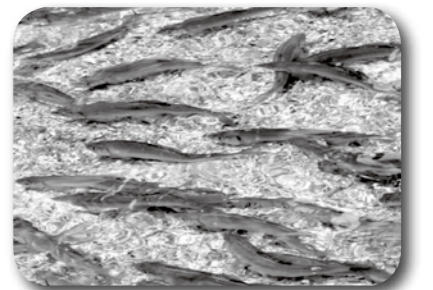
訓練では、陸から離岸堤(テトラポッド)までロープを張って救出する訓練や防災ヘリコプターが漂流者を発見し、無線で救助ボートを誘導して救出する訓練などが行われました。



アユのつかみどり大会

(7月25日)

ニジマス釣り大会40回記念「アユのつかみどり大会」がほたるいかミュージアムの池「シーカナル」で行われ、小学生以下の子ども約200人が参加しました。

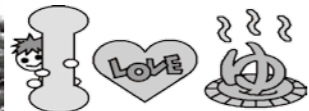


幼児、小学校低・中・高学年に区切られた池に体長20cmほどのアユ約2,300匹が放され、子どもたちはスタートの合図を聞くと一斉に池に飛び込み、夢中でアユを追いかけました。

「あいらぶ湯」利用者50万人達成

(8月13日)

市民交流プラザの入浴施設「あいらぶ湯」の利用者が989営業日(約3年2カ月)で50万人に達成しました。



あいらぶ湯のご案内

- 利用時間 10:00～22:00
- 休館日 毎週水曜日、12月31日 および1月1日
- 利用料金

大人	高齢者	障がい者	小人
600円	500円	500円	300円

※お得な回数券もあります



50万人目の青山淑子さん(上梅沢)と前後賞の小林須摩子さん(二塚)、大西秀信さん(辰野新町)に市長から記念品が贈られました。

パークゴルフ場「ひかりコース」完成式

(7月31日)

東福寺野自然公園パークゴルフ場の新コース「ひかりコース」の完成式が同公園内で開かれ、市長をはじめ関係者5人が試打をして完成を祝いました。



「ひかりコース」は、コース内を流れるせせらぎを生かし起伏に富んだ総延長460m・9ホールで、既存の「ときめきコース」・「かがやきコース」と合わせて27ホールになりました。いずれも国際パークゴルフ協会公認コースの認定を受けています。

完成式の後は、早速記念の大会が行われ、選手は起伏の激しい新コースに苦戦しながらも自慢の腕前を振るっていました。

ふるさと市民大学講座

(8月14日～15日)



「第33回ふるさと市民大学講座」が市民交流プラザで2日間にわたって開かれ、滑川市にゆかりのある3人の講師を招き、国際医療活動や演劇演出、雑誌編集のそれぞれの立場から興味深い話をいただきました。(写真の講師は、辰野出身で「危婦人」主宰・脚本・演出家のスギタクミさん)

小中学校校歌CDの寄贈

(8月5日)

(尙)サンビデオの清水憲治さん(栗山)が市内小中学校の校歌と「滑川市の歌」の伴奏を収録した全23曲入りのCDを制作、市に寄贈されました。



ネブタ流し

(7月31日)

国の重要無形民俗文化財にも指定されている「ネブタ流し」が和田の浜で行われ、けがれや眠気をはらう大たいまつが海に送り出されました。(毎年7月31日に開催)

地元の中川原、常盤町1・2・3区、吾妻町の各町内会などに寺家小学校と青年会議所を加えた計11基の大たいまつは、点火後海に押し流され、赤々と燃え上がる炎を海面に映し出しました。

